

小樽南ロータリークラブ会報



Rotary

2022-2023年度IRテーマ

イマジン
ロータリー

My Rotary
第2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール

2022-2023年度R第2510地区目標

- クラブの将来像を打ち立てる
- より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- 青少年への支援を発展・充実させる
- ICTも利用して交流の輪を広げる

地区クラブ奉仕委員会の目標

クラブの活性化のための
クラブに寄り添った活動!
クラブが主体!

●例会場：オーセントホテル小樽 ●例会日：毎週金曜日12時30分
●事務局：〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080
●Club Homepage: URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2023年 2月17日発行
通巻 第2999号

27

今週 2月17日**金**のプログラム
●卓話：ロータリー財団

来週 2月24日**金**のプログラム
●休会
※23日小樽3クラブ合同例会のため

再来週 3月 3日**金**のプログラム
●地区大会の実行委員会

■第27回例会報告(2月10日**金**) ●例会3000回記念例会 夜間例会

■ロータリーソング【われらの生業】

※会場に音響設備がないため省略

■ゲストビジター紹介

米山奨学生 孔 莉君 (コウ リジュン) さん

■会長挨拶【山村会長】

皆さん こんばんは。コウリジュン さん、いらっしゃい。クラブでリジュンさんの卒業並びに就職祝いをやることを考えています。担当委員会よりご連絡致しますので楽しみにお待ち下さい。

本日の例会プログラムは例会3000回記念の夜間例会です。米山会員を始めとする歴代会長さん方々の思い出話をお聞きしながら3000回という歴史的数字に誇りと感謝を持ってお祝いしたいと思います。宜しくお願い致します。

次週14日国際ロータリーのスキーニセコ大会に参加された皆さんの小樽クラブ訪問と懇親会・17日倶知安で開催されるさよならパーティー、18、19日札幌での地区チーム研修セミナー、23日3クラブ合同例会と事業が目白押しです。会員皆様方の特段のご協力をお願い致します。

先ほど北海道新聞社報道記者さんからお電話有りました。今日の朝刊に市内高校優秀卒業生表彰式の記事を掲載しましたが表彰者の名前が間違っている連絡が入りましたので明日お詫びと訂正の記事を掲載するとの事です。

■米山奨学生 孔 莉君 (コウ リジュン) さんへ奨学金贈呈



■幹事報告

- 2/17は、ロータリー財団の卓話です。スクール形式で食事はお弁当(軽食)になります。
- 来週は例会後理事会がります。

■出席委員会

令和5年2月10日**金**

移動例会のため100%出席
メーカーキャップ

山田 雅敏氏 久末 智章氏
船山 秀樹氏 小野 晃裕氏
※以上、小樽RCの皆様

3,000回例会に際して

小樽南ロータリークラブ
創 立 1960年(昭和35年) 2月5日
加盟承認申請 1960年(昭和35年) 2月6日
R I 加盟承認 1960年(昭和35年) 2月12日
認証上伝達式 1960年(昭和35年) 5月8日
国内加盟承認順 342番目
道内加盟承認順 30番目
第350地区ガバナー 真崎 健夫(札幌RC)
スポンサークラブ 小樽ロータリークラブ
特別代表 寿原 九郎(小樽RC)

チャーターメンバー 22名

高山 隆行	牧野悌二郎	竹田 清治	神野 新三	辻 長吉
山下 信久	中山 謹治	太田 秀夫	山口 直喜	池内 作治
津田 諄三	本間 誠一	安田 重信	宮本 幸治	石川 清
梶谷 真一	本多 英五	猪俣 昌介	宮下 新太	吉川 豊治
武田 典夫	村山 喜一			

例会日 毎週金曜日 12時30分

例会場・事務所

- ・1960年(35年) 2月5日
海陽亭(小樽市山ノ上町14番地)
事務所 北洋相互銀行小樽支店内(小樽市花園町西3)
- ・1978年(昭和53年) 6月
北海ホテル(小樽市稲穂1丁目5番11号)
- ・1988年(昭和63年) 7月8日
日専連ビル(小樽市稲穂2丁目22番1号)
- ・1990年(平成2年) 8月24日
豊楽荘(小樽市花園2丁目12番)
- ・1990年(平成2年) 9月21日
小樽グランドホテル(小樽市稲穂1丁目4番1号)
- ・2000年(平成21年) 2月13日
ニュー三幸(小樽市稲穂1丁目3番6号)
備品事務所 小樽屋台村事務所(小樽市稲穂1丁目カサイビル2F)
- ・2020年(令和2年) 6月27日
オーセントホテル小樽(小樽市稲穂1丁目3番6号)

3,000回記念例会 懇親会で出席の歴代会長が当時の思い出及び事業を語る

小樽南ロータリー3,000回帰年例会に際して



米山会員

10日程前に、自分が一番在籍期間が長いという事で井手幹事より指示がありました。

「山高きが故に尊からず」とよく言われますが、ただ長く居たというだけで、今迄一体クラブに、ロータリーに何をして来たのか、振り返ってみて何ももしていない、冷汗が出る程です。ただ半世紀以上にわたり、在籍しているという事を考えると、私なりにそれだけの意義があったからではないのか。

ロータリーに入会し、例会に出席する意義は50名居れば50の考え方、100名居れば100の見解があると思います。私が入会したのは32歳の時でした。周りは皆、恐いオジサンばかり、とんでもない所に入って来たもんだな！場違いだな！出来るだけ早く退会したいと思いながら、退会するチャンスを考えていました。

そんな事を思いながら、2、3年たつうちに気付いたのです。周りの人達は地域を代表し第一線で活躍している経営者、若しくは責任ある立場の人達です。そういう人達の一言一言、言動に重みがあり、説得力を感じられたのです。

私は旅館を経営している経営者です。企業を運営していくという事に関しては、企業の大きい小さいは関係ないと思います。財務、労務管理、運営…債量的には大きな違いはありますが、その内容、方向性に於いては基本的に大体同じ事を目指していると思います。

問題や困難な場面、壁に突き当たった時に、あの時にあの人があ、言っていた、その事がこの事か…色々な先輩の皆さんの言動がその局面で思いだされて来るのです。そういう事が色々ありまして難局をクリア出来た事が多々あえました。

その頃の私は若かったし、どんな事も貪欲に吸収出来たし、して来たんだなあ…と思うと同時にこれがロータリーなんだという事を実感しました。

ロータリーは「学ぶところ、人生の道場」と言われ、出席が義務とか責任とか言われていますが、私は入会したからには、権利だと思い今日に至っております。

これから先、ロータリー在籍、半年先か一年もつかわかりませんが、ロータリーの基本である職業奉仕活動、奉仕の理想である超我の奉仕…その行動基準になる四つのテストを心に刻み、皆さんに少しでも近づけるよう、人間性の向上に努めて行きたい、又、100%出席に固執する事なく、自然体で健康に留意しながら残されたロータリーライフを楽しみたいと思います。

歴代会長



高木会員



見延会員



廣瀬会員



例会司会 濱本会員



福島会員



齋田会員



岡崎会員



懇親会司会 湊会員



松浦会員の最後の縮



廣部会員



松浦会員



工藤会員



小笠原会員



齋藤会員



野村会員

